

「がん等の方に対する要介護認定」の実施状況について

1 調査経緯

がんや臓器不全の末期等、末期の状態にあって、心身の状況が急激に悪化する方を含め、介護サービスの提供に急を要する方については、迅速な要介護認定の実施が求められている。

がんの方の申請状況を明らかにするため、要介護認定分析を行った。

2 前提条件

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 11 月 30 日までの要介護認定申請を対象。当該期間で複数申請があったものは複数カウントし、一方で、「転入申請」「生保継続者申請」は除外した。

1 号被保険者はがん関連疾患の診断名の記載がある者、2 号被保険者は特定疾病(がん末期)の者を対象とした。

3 調査結果

(1)認定状況

要介護認定申請者数のうち、主治医意見書にがん関連疾患の診断名の記載がある者は、認定者全体の 12～13%で推移しており、年々増加傾向にある。

(表 1)

年度	項目	1号	2号		合計	割合②/① () は前年増減
			がん末期	がん末期以外		
2022年度	要介護認定申請者数	4,375	22	103	4,500	
	意見書あり①	4,249	19	101	4,369	
	がん関連疾患の記 ⁱ	507	19	5	531	12.15%
	意見書なし	126	3	2	131	
2023年度	要介護認定申請者数	4,489	38		4,527	
	意見書あり①	4,346	31	92	4,469	
	がん関連疾患の記 ⁱ	527	31	3	561	12.55%
	意見書なし	143	7	3	153	(0.40%)
2024年度 (*4～11月)	要介護認定申請者数	3,333	30	67	3,430	
	意見書あり①	2,975	26	60	3,061	
	がん関連疾患の記 ⁱ	387	26	2	415	13.56%
	意見書なし	358	4	7	369	(1.00%)
合計	要介護認定申請者数	12,197	90	170	12,457	
	意見書あり①	11,570	76	253	11,899	
	がん関連疾患の記 ⁱ	1,421	76	10	1,507	12.66%
	意見書なし	627	14	12	653	

(2)申請から認定調査実施日までの日数

(表2)

申請から認定調査実施日までの日数について、がん関連疾患の診断名の記載がある1号被保険者は平均13.05日、特定疾病(がん末期)の2号被保険者は平均9.59日、全数(転入申請等除く)は平均9.57日要した。

申請から認定調査実施日までの日数		1号	2号	全数
		がん診断	がん末期	
2022年度～ 2024年度*	データの個数 (n)	1,349	71	11,538
	平均値 (Mean)	13.05	9.59	9.57
	中央値 (Median)	11	8	13

(3)申請から主治医意見書入手までの日数

(表3)

申請から主治医意見書入手までの日数について、がん関連疾患の診断名の記載がある1号被保険者は平均26.70日、特定疾病(がん末期)の2号被保険者は平均21.44日、全数(転入申請等除く)は平均26.01日要した。

申請から意見書入手までの日数		1号	2号	全数
		がん診断	がん末期	
2022年度～ 2024年度*	データの個数 (n)	1,349	71	11,538
	平均値 (Mean)	26.70	21.44	26.01
	中央値 (Median)	24	19	24

(4)申請から認定までの日数

(表4)

申請から認定までの日数について、がん関連疾患の診断名の記載がある1号被保険者の認定までの平均は46.32日、特定疾病(がん末期)の2号被保険者の平均は40.93日、当該期間の全数(転入申請等除く)の平均は46.68日要した。

申請から二次判定までの日数		1号	2号	全数
		がん診断	がん末期	
2022年度～ 2024年度*	データの個数 (n)	1,349	71	11,538
	平均値 (Mean)	46.32	40.93	46.68
	中央値 (Median)	44	40	44

特定疾病(がん末期)の2号被保険者は、全数(転入申請等除く)の平均より5.75日早く認定が出ていた。

申請から二次判定までの日数(表4)から申請から主治医意見書入手までの日数(表3)を引くと、がん関連疾患の診断名の記載がある1号被保険者の認定までは19.62日、特定疾病(がん末期)の2号被保険者の平均日数は19.49日、全数は20.67日であった。

(5)要介護認定状況

がん関連疾患の診断名の記載がある 1 号被保険者は要介護1の割合が最も多く 23.3%であり、特定疾病(がん末期)の 2 号被保険者は要介護2の割合が最も多く 31.6%であった。

年度	1号（がん関連の診断名があるもの）								小計
	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
2022年度	3 (0.6%)	36 (7.3%)	39 (7.9%)	120 (24.2%)	91 (18.4%)	72 (14.5%)	76 (15.4%)	58 (11.7%)	495 (100.0%)
2023年度	2 (0.4%)	41 (8.0%)	55 (10.8%)	115 (22.5%)	93 (18.2%)	71 (13.9%)	74 (14.5%)	60 (11.7%)	511 (100.0%)
2024年度	1 (0.3%)	24 (7.0%)	25 (7.3%)	79 (23.1%)	62 (18.1%)	43 (12.6%)	54 (15.8%)	54 (15.8%)	342 (100.0%)
小計	6 (0.4%)	101 (7.5%)	119 (8.8%)	314 (23.3%)	246 (18.2%)	186 (13.8%)	204 (15.1%)	172 (12.8%)	1,348 (100.0%)

年度	2号（がん末期）								小計
	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
2022年度	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)	2 (10.5%)	2 (10.5%)	8 (42.1%)	3 (15.8%)	19 (100.0%)
2023年度	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.2%)	4 (12.9%)	13 (41.9%)	3 (9.7%)	2 (6.5%)	6 (19.4%)	31 (100.0%)
2024年度	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	9 (34.6%)	2 (7.7%)	6 (23.1%)	6 (23.1%)	26 (100.0%)
小計	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	8 (10.5%)	24 (31.6%)	7 (9.2%)	16 (21.1%)	15 (19.7%)	76 (100.0%)

4 まとめ

がん等の疾患を抱える方が要介護申請を行った結果、要介護 1 以上の認定が出る可能性が高いことが分かった。

がん等の診断を受けた方の迅速な介護サービスの提供へとつなげていくため、申請時の本人の状態に応じて高齢者相談センターではなく、居宅介護支援事業所を案内していく。

がん末期等の方の要介護申請件数は増加傾向にあり、本庁と支所と連携し、速やかな認定調査に努めているが、迅速な要介護認定の実施に向けてさらに検討を進めていく。